

事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 12日

事業所名 児童発達支援センター わいわいなかま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点・課題や改善すべき点等
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8				
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	2		利用数が多い時や状況次第で、2人では大変さを感じる時がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	1		・バリアフリーではないが、身体の機能を培うためには、整備しすぎないこともある意味良い事だと思う。・集団の中でも、能力に合わせた環境設定ができています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1			グループや個々の状況に合わせた空間作りを工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8				改善点など、会議で検討、報告されていると思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価をするとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8				振り返る機会がある。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	1	1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			1	定期的に研修の機会がある。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8				チームで考えることができています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8					具体的にプランニングができています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					目標を確認しながら取り組んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8					児に合わせた工夫がみられる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8					流動的に展開ができています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	8					個別性あるアプローチができています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8					密に打ち合わせができています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8					情報共有ができています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8					記録の振り返りもできています。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8				その都度の振り返りも参考にしながら、支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	1		
	22	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		2	2	4	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	2	1	4	
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8				情報提供書や説明の時間を設けている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		1		情報提供書や説明の時間を設けている。
	27	他の児童発達支援や児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1			
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	4		

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4	2	1	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1			なかなか会えない保護者(LINE報告、連絡をしても返信なし)には共通理解出来ているのか?と思う。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8				
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、対して面談や、必要な助言と支援を行っているか	8				必要に応じて、上長や児発管に相談して、ケースによっては面談を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携が支援しているか	6	1	1		先輩お母さんの会がその支援だと認識している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	1			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				LINEだけではなく、直接話ができるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4	1	どんな行事があるのかよくわからない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	1	1	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2	1	1	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	2			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4			1
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1			1
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				1
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標

法令に則った配置をしていますが、もう少し余裕をもって働いてもらえるよう、常にスタッフを募集しています。

S53年に建てられた建物で老朽化が進んでいることは、理解しています。新施設については、検討中です。

老朽化の為、移転を検討中。掃除に努めています。

スタッフ会議を月に一回設け、話し合い・検討していきます。

ホームページにて公開しています。改善点については、随時、お知らせします。

第三者による外部評価は今後検討します。

内部研修含め研修の機会を設けています。今後も充実していきたいと思えます。

JSI-R等を利用しています。
個別支援計画に記載しています。
個別支援計画に沿って支援をしています。
スタッフ会議で話し合っています。 詳しくはグループのリーダーが立案し、 全員で共通理解をしています。
年間通しての活動プログラムの見 通しを立てています。
スタッフ間の振り返りの中で子ども の状況を検討し、支援計画を作成して います。
打ち合わせの時間を作っています。
毎日振り返りの時間を作っています。
日々のスタッフ間で振り返り・検証し、 次回の療育の改善に努めています。

定期的にモニタリングを行い、スタッフ間で検討し、見直しをしています。

主に児童発達支援管理責任者が対応しますが、ケースによっては担当者同席の場合があります。

医療的ケアの必要な子どもを今のところ受け入れていません。

医療的ケア児を受け入れる場合、医療機関と連絡体制を取っています。

情報提供を行い、スムーズな移行を目指しています。

就学に当たって情報提供を各学校に行っています。

散歩中の子どもとお会いすることはあります。未就園の子どもさんは現在1名です。療育に来られるのは、ほとんど週1回です。子どもさん達は、保育園、幼稚園で障がいのない子どもさん達と十分関わっておられると思っています。



R5年に子ども部会が設立されたので、  
児発管が出席をしています。

契約時に丁寧に説明しています。

親子療育の中で、保護者同士話せる  
時間を作っています。単独療育の保護  
者さん向けの会について検討します。

個人情報の取り扱いについては十分  
気をつけています。

全てのマニュアルを作成しています。

児発では、スタッフのみの訓練をして  
います。今後は、年長児さんから訓練  
を行います。

相談支援事業所との面談時に情報を  
得ています。

現在、食物アレルギーの子どもさん  
は、利用される時は指示を受け  
ます。

作成しています。

虐待防止委員会を開催し、研修を行  
っています。

個別支援計画でも記載し了解を得  
ています。契約時に説明をしています。